

平成 24 年 11 月 14 日

そお地区障がい者相談支援センター

ピアカウンセラー 濱田 みづゑ

相談支援専門員 福岡 翔吾

報告書

第 6 回「バリアフリースター大隅路～かのやばら園～」

【バリアフリースター趣旨】

《感動・感謝》

1. ツアー参加者が楽しみ、感動と感謝のツアーであること。
また、適宜サポートが提供可能なツアーであること。

《育成・貢献》

2. 大隅地域におけるユニバーサルデザインの推進に貢献すること。
またユニバーサルデザイン化された大隅地域が、国内外問わず迎え入れ可能な特色ある観光地として発展するように貢献すること。

【日 時】 平成 24 年 11 月 4 日（日）8：30～16：30

【参加者】 34 名（名簿参照）

【目 的】

- （1）ばら祭りを開催している「かのやばら園」散策で、薔薇の香りや色彩を楽しむ、「神川大滝」の景観を堪能するなど、心を潤す魅力ある大隅を感じてもらうこと。
- （2）上記の「バリアフリースター趣旨」を踏まえ、参加者に喜んでもらい、親睦を深め、お互いつながりを感じあい、「また来たい！」と思って頂くこと。

【内 容】

- 1、場 所 かのやばら園～デラセーラ（昼食）～神川大滝公園
- 2、移動手段 福祉バス 1 台（志布志市より借用）
リフトバス 2 台（老健つわぶきより借用）
- 3、費 用 収支報告表参照

【アンケート抜粋】

○良かった点

- 1、とても良かった。いろんな人たちとの触れ合いがとても嬉しかった。
- 2、バラが旬の時に訪れられて良かった。
- 3、神川大滝は初めてだったので良かった。
- 4、自分ではなかなか出かけることがないので、1,500 円の費用で行けることが良い。

○ 反省、改善内容

- 1、バスが別々だったせいで、紹介ができなかったこと。
- 2、ばら園でもう少し時間が欲しかった。
- 3、食事は個々で食べて、注文も個々でしたかった。
(7人で6皿だったから、少し足りなかった)
- 4、もう少し打ち合わせなどを良くしてほしい。

【感想】

今回のバリアフリーツアーは前回のアンケートにて「かのやばら園」との希望があり、大隅の魅力を皆様にご感じていただくことを踏まえて企画しました。回を重ねるごとに参加者も増えており、市報や新聞、CATV などにも取り上げてもらい、第6回の開催になる今回は34名もの参加を頂き、子どもからご高齢の方まで年代層も幅広くなり、大変うれしく思います。

第6回のバリアフリーツアーは9月より準備を始めましたが、綿密な打ち合わせ等もできず、準備不足で皆様にご迷惑をおかけしたことが多々あり、当日も予定した時刻から遅れての出発になりました。しかし、車での道程は長いものでしたが、皆様、会話が弾み目的地までの景色を観ながら楽しめたのではないかと感じました。

かのやばら園では、散策時間が予定より短縮になったのが非常に残念なことでしたが、秋の肌寒い風も吹いているなか各自思い思いに鑑賞し、薔薇の濃厚な甘い香りや鮮やかな色彩を堪能できました。園内は車いすで散策できるよう整備され、大掛かりな補助を必要とはしませんでした。勾配がきついところや通路が狭い場所もあり、周囲の人々の配慮もかせないと改めて思いました。

昼食はイタリアンレストラン「デラセーラ」でパスタやピザなど錦江湾を眺めながらの食事で洋食の外食機会が少ない方もおり、「普段食べないからおいしかった。」との感想もありました。しかし、若い方には量的に少ないのではないかとの思いもありました。また、店内は人気もあり満員で混み合っていましたが、店の方に広いスペースを確保していただき、ゆっくりとした雰囲気ですぐ昼食をとれました。

神川大滝公園では、大滝の迫力に大声や歓声もきこえるほどの大盛況で「長い間

大隅にいるのに初めて来ました。」との方も多く、企画したかいがありました。

志布志支所には予定時間よりも早く帰ってくることができ、怪我や事故もなくよかったです。しかし、前回の反省点であった自己紹介や行程説明など出発時間のため、省略したこともあり、時間調整や準備の重要性を感じました。

具体的に今回の問題点として、

- ① 初めてのリフト付きバスの、乗り降りの操作や対応したスタッフが一人しかおらず、時間がかかった。
- ② 天候があまり良くなかったので、当日は中止と思われた方を迎えに行き時間を取ったこと。当日、天気不安がある場合は、あらかじめスタッフでは連絡合っていたが、参加者にも連絡する配慮が必要だった。
- ③ 下見等も行ったが勤務の都合上、2名での下見で、昼食会場も下見できなかったため、料理の内容で「ボリュームが少ない」との意見もありました。

今後、このような不測の事態にも対処できるよう余裕のある行動と配慮を心がけたいと思います。

次回もまた参加したいという方も多くいらっしゃいましたので、皆様に喜んでいただける企画をしていきたいです。今回のツアーは比較的整備された場所をまわりました。しかし、ところどころでは支援の必要な個所もあり、ボランティア参加者が気が付き、配慮をいただくところも見受けられました。

地域づくりは、物的に整備するだけでなく、周囲の人々との「支えあう心」「相手を想う心（配慮）」を育てることも重要だと改めて気づきました。今後もバリアフリーツアーの企画を通して、人々を応援する力や、当事者目線のさりげない配慮などに気づくきっかけ作りをしていきたいと思います。

尚、今回も以下の方々からの協力を得られました事、感謝申し上げます。

「志布志市役所 福祉課」「(有) 三井・メディックス」「左右会ヘルパーステーション」「老健つわぶき」「グループホーム南の家族」「びろうの会」
「南日本新聞社」「志布志市役所 広報係」

(同不順)

【参考資料 添付】

- 1、参加者名簿 2、行程表 3、収支報告書 4、写真、6、案内書

行 程 表

8 : 30 志布志市役所 志布志支所集合 挨拶、行程説明

9 : 00 出発

| (あすばる大崎にてトイレ〈車いす用有〉休憩)

10 : 00 かのやバラ園着 散策 (車いす用トイレあり)

11 : 15 出発

|

11 : 45 デラセーラ着 イタリアンランチ

|

13 : 10 出発

| (「にしきの里」トイレ〈車いす用有〉休憩)

13 : 40 神川大滝公園着 大滝(落差 25m) 観賞

(車いす用トイレあり)

14 : 00 点呼、出発

| (あすばる大崎、トイレ〈車いす用トイレあり〉休憩)

16 : 40 志布志支所着

|

反省会

17 : 30 解散



